

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年10月7日
枚方市立春日小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童（生徒）の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

※調査結果について

教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→説明文や物語文等、これまでも様々な文章を読み、内容を理解する学習を積み重ねていることから、資料等を読み、内容を把握する「読み取る力」については、概ね身についていると考えられる。また、くり返し練習する漢字の読み書きにおいても同様である。しかし、自分の考えや意見を「書く力」については、書く目的を明確にするとともに、求めらえる課題に沿って書けるよう、くり返し練習をする必要がある。無回答率が高いことから、あきらめずに取り組むことも日々、取り組む必要がある。**（粘り強く学ぶ、取り組む児童の育成）**

○算数について

→計算することやグラフを読むこと等、基本的な知識は身につけている。しかし、小数や分数の構成や、図形の構成について、既習事項を応用して解答する力に課題が見られた。また、はかりの目盛りを読むこと、「10%増量」の意味を説明することについて、学習したことが普段の生活と直結して捉えられていないのではないかと考える。無回答率が高い問題もあることから、日ごろから単に答えを出して終わりではなく、答えを出すまでの過程を大切にして、それらを書いたり話したりすることの積み重ねが必要だと考える。**（思考力・判断力、表現力の育成）**

○理科について

→既習事項をもとに考える問題については、概ね正答率が高い。しかし、実験を正しく行うための「条件」設定や「なぜ、この結果になったのか」等の理由について、根拠をもとに記述することに課題がある。また、乾電池2個のつなぎ方について、「直列つなぎが電磁石を強くする」という知識を見る問題が、全国の正答率の半分だった。（本校では25%の児童が正答）学習内容を日常生活にも関連付けて理解できるようにしたい。さらに、与えられた課題だけでなく、学習内容に関連して、児童が自ら課題を持って解決する経験を、各学年で意図的にさせることも必要だと考える。**（自ら課題を持って、主体的に学ぶ児童の育成）**

国語科における設問

【成果が見られた設問】 1三(1)

【問題の概要】

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える。

- (1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、部アのように発言した目的として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
 - 2 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
 - 3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
 - 4 相手が伝えたいことの中心を明確にするため。

三 小森さんたちは、バスの運転士の同様にインタビューをするにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

「インタビューの様子の一部」

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、同様の仕事をしたいという方がいます。どうぞよろしくお話しします。

岡さん はじめに、バスの運転士として同様に働くことが大切であることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことです。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわてず、大きな事故を防ぎたいという気持ちで、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守るためには、運転士だけではなく、乗客の協力も必要です。

小森さん えっ、そうなんですか。運転士はほかにもどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も点検をしています。そのほか、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん いまは、たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているのですね。私たちは、同様の仕事に大切だと思つて、私たちが思つた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

5 (インタビューが続く)

傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択。

【考察】

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめるためには、目的や意図に応じて、必要な材料を集め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することが重要である。

この問題では、バスの運転手の話を受け、具体的に話をしてもらうことで、いかに安全面を重視しているか、理解を深められたことに気づけた児童が多かった。インタビューにおける傍線部アの前後のやり取りを読み取り、小森さんの質問の意図を理解したことで、正しい答えを選択できたと考ええる。

【成果が見られた設問】 2二

【問題の概要】

図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

二 山田さんの手ぬぐいは、伝統工芸品について詳しい文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身にかけたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉と図の関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。
- 2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。
- 3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。
- 4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択。

【考察】

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、図表を用いるなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが重要である。

この問題では、手ぬぐいの模様について読み手がよく理解できるように、言葉だけでなく、図を用いて書き表し方を工夫していると捉えた児童が多かった。実際に、[]を読み、何を伝えようとしているのかを適切に理解したことで、正しい答えを選択できた。また、言葉だけでなく、言葉と図等によって理解を深める経験をしてきた成果であると考ええる。

国語科における設問

【成果が見られた設問】 3一

【問題の概要】

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づく。

- 1 時代とともに言葉の意味が変わること。
- 2 時代とともにものの使い方が変わること。
- 3 世代によってものの呼び方がちがうこと。
- 4 世代によって言葉の使い方は変わらないこと。

【木村さんの経験】

ひいおばあちゃんが「かわやはどこ」と聞いたことがあったなあ。ぼくが「かわやって何。」とたずねたら、お父さんは「便所のことだよ。」と教えてくれたなあ。ぼくはトイレって言うんだけどな。

一 木村さんは、「資料1」を読み、次の「木村さんの経験」を思い出しました。木村さんが経験を通して気づいたこととして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



木村さん

これまで読んだ資料を通して、気づいたこととして適切なものを選択。

【考察】

文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけるためには、読む目的を明確にすることが大切である。

この問題では、児童が資料の内容を適切に捉えるとともに、木村さんの経験について、会話文の内容について、**時間の経過による言葉の違いに気づくことができる**。また、児童は、**自分たちが普段使っている言葉とは異なる言葉があることや、それぞれの世代には特有の言葉遣いがあることに気づく**とともに、「かわや」「便所」「トイレ」の意味も知っていたものと考ええる。

【課題が見られた設問】 2三

【問題の概要】

目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
・何回か折るだけで、すぐに完成する。
- ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
・よごれがつかのを防ぐことができる。
- ・落としたときに、本がきずづかなかった。
- ペットボトルカバー
・水で濡れた荷物につかなくてよかった。
- ・温かい飲み物が冷めにくかった。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。



三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」のほうがよく考え、次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

「ちらし」の二重傍線部を、「調べたこと」をもとに詳しく書く。

【考察】

自分の考えが伝わるように文章を書くためには、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、書き表し方を工夫することが重要である。

この問題では、調べたことの「本を読んで分かったこと」「使ってみて分かったこと」から言葉や文を取り上げることと、60字以上100字以内で書くことが条件となっている。しかし、条件を満たして書けた児童は約49%で半数。約10%の児童が無回答だった。

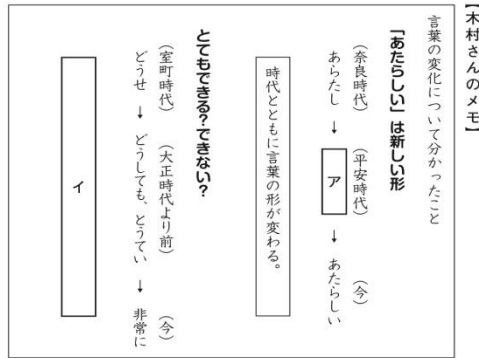
学習指導要領の内容(5・6年)にもあるように、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するなど、学年に応じて「書くこと」に慣れていく必要があると考ええる。

国語科における設問

【課題が見られた設問】 3二(2)

【問題の概要】

事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。



資料3を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選ぶ。

- (1) 「木村さんのメモ」の「ア」の中に入る適切な言葉を「資料2」の中から書きぬきましょう。
- (2) 「木村さんのメモ」の「イ」に当てはまる内容として最も適切なものを、「資料3」を読み、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 時代とともに言葉の意味が変わる。
 - 2 時代とともにものの使い方が変わる。
 - 3 世代によってもものの呼び方がちがう。
 - 4 世代によって言葉の使い方は変わらない。

【考察】

文章全体の構成を捉えて要旨を把握するためには、叙述をもとに、書き手が、どのような事実を理由や事例として挙げているのかなどに着目することが重要である。

【資料3】では、最終段落に、書き手の伝えたいことが述べられている。また、「現代」という言葉から、「時代」によって使われる「ことば」がどうなのかと捉えることがポイントである。約40%の児童が気づくことができた。説明文を中心に、書き手が何を伝えたいのか捉えるなど、目的な明確にして内容を読み取る活動を積み重ねる必要があると考える。

【課題が見られた設問】 3三(2)

【問題の概要】

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける。

【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを【資料2】【資料3】【資料4】に書かれていることを理由にして、まとめて書く。

※ 次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

- (2) 木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、「資料2」、「資料3」、「資料4」に書かれていることを理由にしてまとめることにしました。あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。
- （条件）
- 言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

【考察】

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけるためには、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。

この問題では、言葉の変化について、共通の資料を読み、一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことや考えたことをまとめる場面設定をしている。児童は「木村さんだったら」を前提に、納得したこととその理由をまとめることを問われている。半分の児童が正答しているが、約14%の児童が無回答だった。

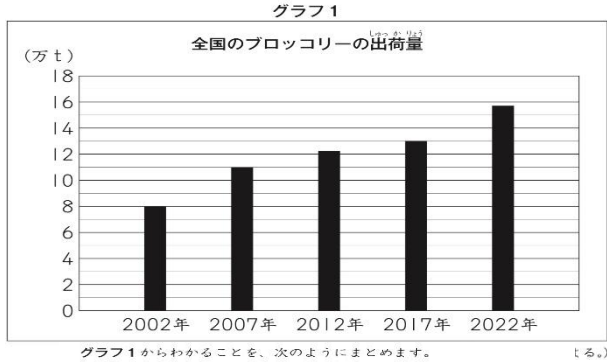
文章や資料から内容を読み取り、何を書くのかを考えるとともに、「まずは読んで理解する、書いてみる」という「あきらめずに、行動に移す」ことも、児童につけさせたい必要な力だと考える。

算数科における設問

【成果が見られた設問】 Ⅰ(1)

【問題の概要】

棒グラフから、項目間の関係を読み取る。



2022年の全国のプロッコリーの出荷量は、2002年の出荷量の約 倍になっています。

上の○に入る数を、下の 1 から 4 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.5
- 2 2
- 3 8
- 4 16

2022年の全国のプロッコリーの出荷量が2002年の全国のプロッコリーの出荷量の何倍かを棒グラフから読み取って選ぶ。

【考察】

日常の事象について、目的に応じて、必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察するなど、統計的に問題を解決することが重要である。

この問題は、2022年の出荷量が2002年の出荷量の何倍になっているかを調べるために、棒グラフの長さに着目したり目盛りを読み取ったりする力が必要である。棒グラフの特徴や使い方を理解し、何をもとにして「何倍」を求めるのか、3年時の既習事項を用いて解答することができている。

【成果が見られた設問】 Ⅰ(4)

【問題の概要】

示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する。

(4) 指定野菜について調べていたあいりさんたちは、1人が1日に食べる野菜の量の目標は350gと知り、下の資料を見つけました。

70gってどれくらい？
それぞれの野菜の70gの目安

きゅうり 1本分で70g	オクラ 8本分で70g	ブロッコリー 4個分で70g
ピーマン 2個分で70g	アスパラガス 3本分で70g	にんじん 3cm分で70g

例えば、きゅうりを1本食べた다고すると、70gの野菜を食べたことになりますね。

ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたら、何gの野菜を食べたと考えることができるのかな。

上の資料をもとにすると、ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたとき、何gの野菜を食べたと考えることができますか。
求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロッコリー4個の重さを求める式と答えを書く。

【考察】

問題を解決するために、必要な情報を選び、数量の関係を式に表せることが大切である。

この問題では、「70gってどれくらい」という資料からピーマンは「2個で70g」、ブロッコリーは「4個で70g」という情報を選び、これらをもとに、「ピーマン1個とブロッコリー4個の重さの求め方を式に表し、計算している。4年時に学習した「問題場面の数量の関係」に着目し、それらの数を四則が混合した式を用いて計算することで、正解を導き出せると気付いた児童が多かったと思われる。

算数科における設問

【成果が見られた設問】3(4)

【問題の概要】

異分母の分数の加法の計算をする。

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

【考察】

この問題では、例えば $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ の分母の最小公倍数である「6」を用いて通分し、 $\frac{3}{6} + \frac{2}{6}$ を計算することが必要である。

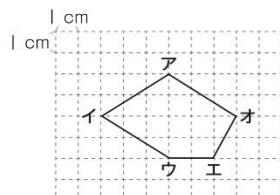
これは、5年時において学習している内容であり、約85%の児童が既習事項を適切に用いて正答に至ったと考える。くり返し練習をするなど、家庭学習等で自主学習をして積み上げていくよう、指導していきたい。

【課題が見られた設問】

【問題の概要】

基本図形に分解することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する。

(4) わかなさんたちは、図3のような五角形アイウエオの面積の求め方を考えています。



五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたならどちらの直線をひいて求めますか。2つの図形に分ける1本の直線を、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、2つの図形の面積がそれぞれ何cm²になるのか、それらの求め方を、図3の中から必要な長さを調べて、式や言葉を使って書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

- 1 直線イオ
- 2 直線ウオ

わかなさんたちは、三角形や四角形の面積の求め方が使えるように、図3の五角形アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。



わたし
私は、直線イオをひいて2つの図形に分けようと思います。



私は、直線ウオをひいて2つの図形に分けようと思います。

わかなさんとゆうたさんのどちらの分け方でも、五角形アイウエオの面積を求めることができます。

「五角形の面積を求めるために五角形を2つの図形に分解し、それぞれの図形の面積の求め方を書く。」

【考察】

図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方をもとに、図形の面積の求め方を説明できるようにすることが大切である。

この問題では、五角形の面積を求めるために、既習の求積可能な二つの図形を見だし、面積を求めるために必要な情報を自ら選び出し、二つの図形のそれぞれの面積の求め方を筋道を立てて考察することが必要。

直線イオをひくと、三角形と台形の面積を求めることになる。これは約14%の児童が正答した。また、直線ウオをひくと、ひし形と三角形の面積を求めることになる。これは約5%の児童が正答した。問題には、このように

※ 必要ならば、下の公式を使って考えてもかまいません。

- ・ 長方形の面積＝たて×横
＝横×たて
- ・ 正方形の面積＝1辺×1辺
- ・ 平行四辺形の面積＝底辺×高さ
- ・ 三角形の面積＝底辺×高さ÷2
- ・ 台形の面積＝(上底+下底)×高さ÷2
- ・ ひし形の面積＝対角線×対角線÷2

公式も明記されていたが、多くが正答に至らなかったのは、図3を用いて、必要な長さを求めることができなかったのではないかと推測する。

算数科における設問

【課題が見られた設問】 3(1)

【問題の概要】

小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える。

3

ひろとさんたちは、小数や分数のたし算について、ふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$ についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。
0.1 を $\textcircled{0.1}$ として下の図のように表します。



0.4 + 0.3 の計算は、0.1 をもとにすると、 $4 + 3$ を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$ は、0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$ について同じようにまとめます。

0.4 は $\textcircled{0.1}$ の 40 個分、0.05 は $\textcircled{0.01}$ の 5 個分です。
 $0.4 + 0.05$ の計算は、 $\textcircled{0.01}$ をもとにすると、 $40 + 5$ を使って考えることができます。

上の $\textcircled{}$ にはすべて同じ数が入ります。 $\textcircled{}$ に入る数を書きましょう。

$0.4 + 0.05$ について、整数の加法で考えるとき、共通する単位を書く。

【考察】

小数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、共通する単位を見いだすことで、整数の加法に帰着して考察できるようにすることが大切である。

この問題では、0.4は0.01の40個分、0.05は0.01の5個分とみることで、「0.01」を共通する単位として捉えることが必要。約58%の児童が正答しているものの全国より約15ポイント下回っている。児童は、数の相対的な大きさについて理解できていないことが予想される。「単位」についての理解を深まるよう、低学年のうちから系統立てて、積み上げておきたい。

【課題が見られた設問】 1(4)

【問題の概要】

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にすると、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数のいくつ分になるかを書く。

【考察】

分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、共通する単位分数を見いだすことで、整数の加法に帰着して考察できるようにすることが大切である。

この問題では、共通する単位分数として $\frac{1}{12}$ を見だし、 $\frac{3}{4}$ は $\frac{9}{12}$ であることから、 $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{8}{12}$ であることから $\frac{1}{12}$ の 8 個分と捉えることが必要。異分母の分数の加法・減法について理解しているとともに、自分の考えを数や言葉を使って説明する経験の積み重ねも大切だと考える。無回答率が9.2%あることから、日ごろから、「考えを表現すること」をあきらめないよう、指導する必要もある。(教科問わず)

理科における設問

【成果が見られた設問】 2(3)

問題の概要

電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身につけている。

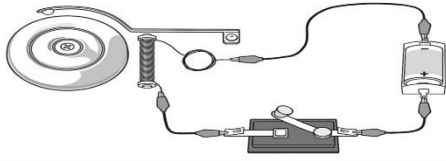
いおりさんとてつやさんは、かね（ベル）について話しています。

かね（ベル）の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。電磁石の強さを強くして、かねを強くたたけばいいね。



電磁石の強さを強くするには、次のようにするといいいね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたとしたら、巻き数を（ア）。
- ・かん電池を変えたとしたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



(3) 上のふきだしの（ア）にあてはまることばを書きましょう。

ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く。

考察

この問題は、ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるために、コイルの巻数の変え方を表現できるかを問うものである。

5年時に学習した電磁石の強さとコイルの巻数の関係の知識を、約80%の児童が身につけていると考える。実験を通して、知識を言葉で説明したり図に整理するなど、知識と関連づけて理解を深めることが、成果につながったと考える。また、生きて働く知識として得るために、他の学習や生活の場面でも活用することを意識づけておきたい。

【成果が見られた設問】 3(2)

問題の概要

顕微鏡を操作して適切な像にするための技術が身につけている。

てるみさんは、ヘチマの花粉をけんび鏡で観察することにしました。



けんび鏡を操作すると、観察する物の見え方が変わるね。

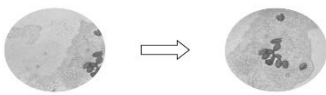


(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の1から4の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

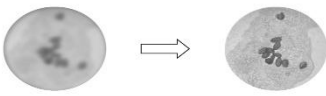
操作する前

操作した後

キ



ク



ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ。

- 1 対物レンズをちがう倍率のものにした
- 2 プレパラートを動かした
- 3 明るさを調節した
- 4 調節ねじを回した

考察

この問題は、ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための操作の技能が身につけているかどうかを問うものである。

実験において扱う器具や機器などを適切に操作する技能を身に付けることは大切である。児童の約50%が、理解しており、全国より約4ポイント上回っていた。しかし、約50%の児童は、ピントを合わしたり、対象物を中央にくるようプレパラートを動かす方法を理解できていない。実験の際に、より意識して操作することが必要であり、学習後もふりかえる機会が必要だと考える。

理科における設問

【成果が見られた設問】 4(3) カキク

問題の概要

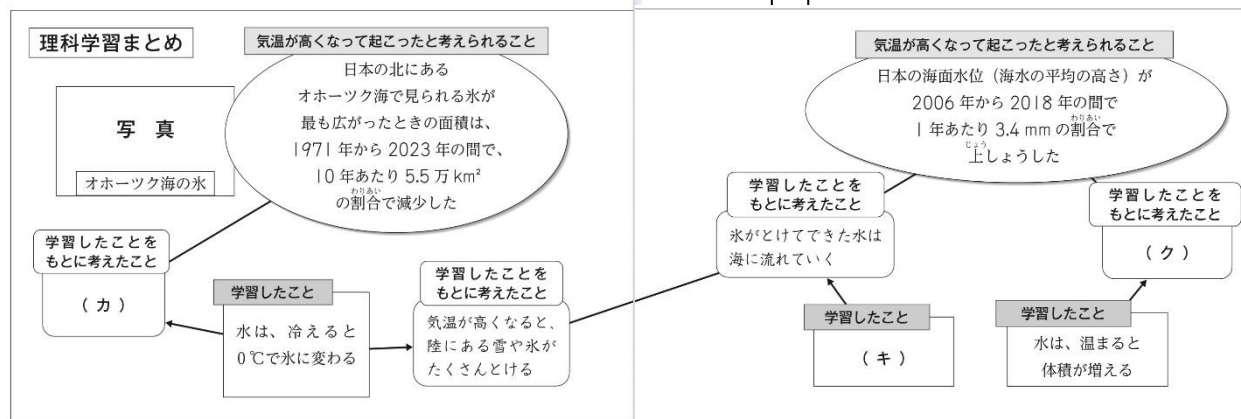
カ) 水が氷に変わる温度を根拠に、海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現する。

キ) 氷が解けてできた水が海に流れていくことの根拠について、既習事項に関連づけて、知識を観念的に理解している。

ク) 「水は温まると体積が増える」を根拠に海面水位が上昇した理由を予想し、表現する。

考察

この問題は、オホーツク海の氷と気温の変動との関係を「理科で学習したこと」に関連づけて「学習したことをもとに考えたこと」について思考して表現する。



- 1 海水は、温まると水と同じように体積が増える
- 2 海の氷は、平均気温が高くなるとできにくくなる
- 3 水は、高い場所から低い場所へと流れる
- 4 水は、氷になるとき体積が増える

カ) 海にある水がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ。
キ) 水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連づけているものを選ぶ。
ク) 海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ。

この3問について、いずれも全国の正答率より上回っている。4年時に学習した「水は、冷えると0℃で氷に変わる」「水は、高い場所から低い場所へ流れる」「海水は、温まると水と同じように体積が増える」ことを知識として身に付けている児童が60%以上いる。これからも、自然の事物・現象と知己を関連づけたり、知識を相互に関連づけたりして、理解を深めることを重視した授業づくりをする。

理科における設問

【課題が見られた設問】 2(1)

問題の概要

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身につけている。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までのの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。

考察

この問題では、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石を引き付けられる物があることを理解していることが大切である。ただし、アルミニウム、鉄、銅の性質を理解しておく必要がある。

全国より1.3ポイント上回っているものの、正答した児童は約12%にとどまっている。

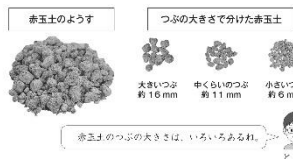
3年時に学習した内容であり、その後、授業ではほとんど触れられることがない。そのため、授業以外でも日常生活において、実感できる機会が必要だと考える。

【課題が見られた設問】 1(1)

問題の概要

赤土玉の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤土玉の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発送し、表現する。

1 としやさんとあかりさんは、学校の庭だんに入れた、赤土玉という土を見て、気づいたことを話しています。



赤土玉のつぶの大きさは、いろいろあるね。

としや

「水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによってちがいがあある」ということを学習したけれど、赤土玉でも同じなのかな。水がしみこむ時間で比べてみよう。

あかり

あかりさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】

水のしみこみ方は、赤土玉のつぶの大きさによって、ちがいがああるのだろうか。

赤土玉の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く。

【方法】

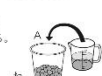
- ① どうもなプラスチックでできた2つの同じコップに次のことをする。
 - ・4つの穴を同じようにあける。
 - ・同じ高さの線を図のように引く。これらを穴あきのコップA、Bとする。



- ② まさふくろから取り出し、次のように入れる。
 - ・コップAは大きいつぶの赤土玉
 - ・コップBは小さいつぶの赤土玉



- ③ コップAに水ですぼやく入れ、時間をはかり始め、水の面が同じ高さの線に下がるまでの時間をはかる。コップBも同じようにして時間をはかる。



- ④ 受け皿にたまった水、コップの土や水をすべて出し、②と③を全部で3回行う。



- (1) 上の【方法】で、コップAの条件を下の通りにしたとき、コップBの条件（赤土玉の量と水の量）は、どのようにすればよいでしょうか。下の（ア）と（イ）の中にあてはまる数字を書きましょう。

	つぶの大きさ	赤土玉の量	水の量
コップAの条件	大きい	300 mL	250 mL
コップBの条件	小さい	（ア） mL	（イ） mL

考察

ここでは、【問題】を解決するための【方法】を発送し、条件を正しく設定しながら調べることが求められる。実験をする際に、「変える条件」と「変えない条件」を整理する必要性を、児童は理解しておく必要がある。

今後、実験の仕方を教えて結果を出すことをゴールにするだけでなく、むしろ、その過程で何に気を付けないといけないのか、児童が考え、実験に臨ませるなど、試行錯誤する経験をする授業を意識していきたい。

理科における設問

【課題が見られた設問】 1 (2)

問題の概要

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果をもとに結論を導いた理由を表現する。

あかりさんは実験を行い、得られた【結果】を下のように整理しました。

【結果】 あかりさん 〈赤玉土に水がしみこむ時間〉		
	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1 回目	3 秒	11 秒
2 回目	4 秒	10 秒
3 回目	4 秒	11 秒

あかりさんは、【問題に対するまとめ】を考えています。



【問題に対するまとめ】は、「水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがあ」といえるね。

(2) あかりさんが下線部のようにまとめたわけを、上の【結果】を使って書きましょう。

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方のちがいをまとめたわけについて、結果を用いて書く。

考察

この問題では、【問題に対するまとめ】を導くには、【結果】をもとに考察することが大切である。

約8%の児童だけが、コップA, コップBにおける赤玉土に水がしみ込む時間についてそれぞれ示し、そのしみ込む時間を比較して、そのように考えた理由を記述することができていた。しかし、約40%の児童が、結論または理由のどちらかのみを書いており、完全な正答になっていない。その他、求められる表現ができなかった児童とともに、約9%の児童が無回答だった。

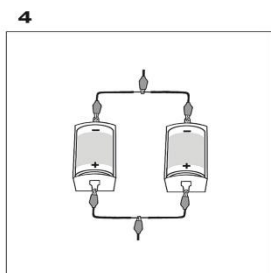
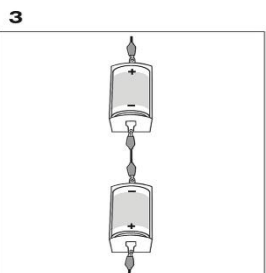
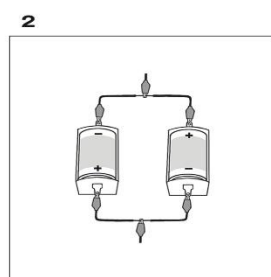
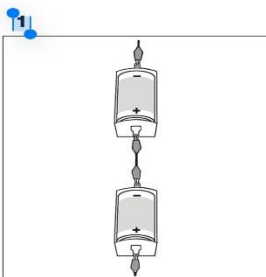
このことより、示された資料等をもとに、条件に沿って考察し、表現する経験の不足によるものではないかと考える。

【課題が見られた設問】 2 (4)

問題の概要

乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身についている。

(4) かん電池 2 個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くするものを選ぶ。

考察

この問題では、乾電池のつなぎ方について、直列つなぎ、並列つなぎの特徴を知識として身についていることが求められる。

全国の正答率より約19ポイント下回る約27%の児童だけが正答。学習したときは、ものづくりを通して、直列つなぎと並列つなぎの特徴を学んでいる。このとき、つくった装置を言葉や図に表現したり、言葉や図から装置を再構成するなどして、理解を深めることを意識した授業をつくる必要がある。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまらない」を示しています。

※折れ線グラフは、「当てはまる」を示しています。

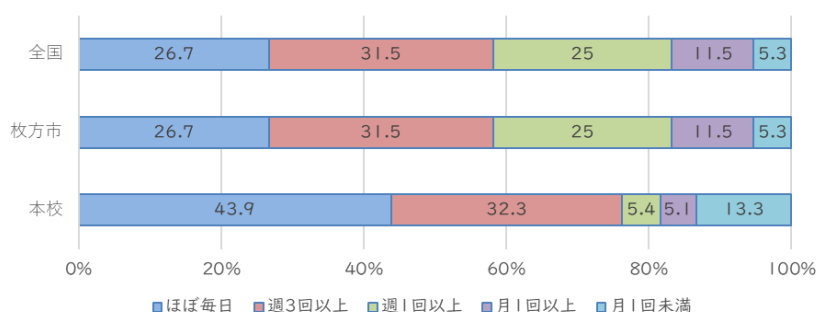
※無回答があるため、帯グラフの合計は100%とは限りません。

質問紙調査に関しては、①R7年度の帯グラフ ②考察を必須とします。別添のExcelファイルを活用して作成してください。様式以外に、各校で分析をしてきた項目の記載や、レイアウトの工夫等は可能ですので、よりわかりやすい公表資料の作成をお願いします。

【成果が見られた項目】

質問内容〜〜

1、2生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

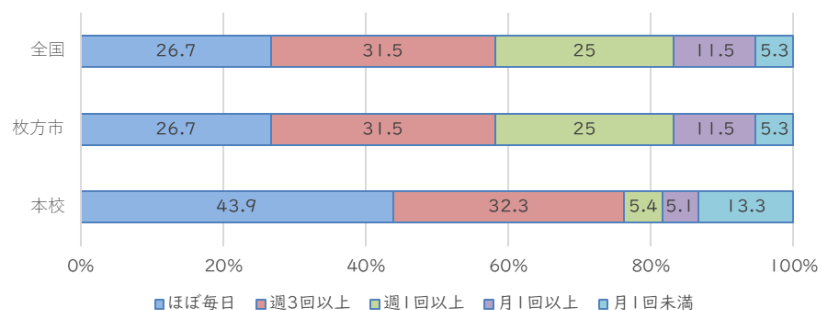


(考察)

質問内容〜〜

市や学校が重点としている項目、保護者に協力を求める項目、顕著な結果等について、各校の取組と関連をさせながら、成果について掲載、説明をしてください。掲載する数については、指定はありません。

1、2生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。



(考察)

(1) 授業改善について

(2) 家庭学習について

◆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の観点から、

- ・自立した学習者（教えから学びへの転換）
- ・児童生徒が「自己決定」できる場面の設定
- ・課題解決型学習と結びつけた観点
- ・授業と家庭学習の結びつき
- ・学力向上に向けた組織的な取組

などの取組や観点も踏まえて、記載してください。

ポイントは「保護者に伝わる」ことです。学校がこれらの結果を踏まえてどんなことに取り組んでいくかのメッセージを込めて作成してください。（相手意識）